

第 2 学年 数学

数学の学習でめざすこと

文字式を用いた式で、数量や数量の間の関係を的確に表現し、それを目的に応じて計算したり変形したりできるようにする。

数量の関係を 2 つの文字 x , y を用いて等式に表し、これを用いて実際の問題を形式的・能率的に処理することができるようにする。

変化や対応についての見方や考え方をいっそう深めるとともに、事象の中から一次関数を見だし、これを用いることができるようにする。

図形の性質を調べる上で、基礎となる見方・考え方や基本的性質を明らかにし、論証の意義と推論の進め方について理解する。

平行線についての性質や三角形の合同条件を根拠にして、三角形、平行四辺形、円の性質を調べ、それらを活用することができるようにする。また、これらを通して、図形の論証に対して興味・関心をもち、筋道を立てて考えることができる。

偶然事象の生起の程度を数値化する方法について考察し、確率の意味を理解する。また、簡単な場合についての確率が求められる。

学習教材及び学習の進め方

使用教材	教科書 楽しさひろがる 数学 2 (啓林館) 副教材 問題ノート (新学社)	持ち物	左記以外に 授業用ノート
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけるためには》</p> <p>学習課題を的確に把握し、課題にたいして前向きに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問に思ったことや、分からないことを解決する努力をする。 ・学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 <p>自分の良いところを伸ばし、苦手なところにも挑戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと・課題を解決できたことに自信を持つ。 <p>《家庭学習》</p> <p>予習・復習をしっかりとる。</p> <p>宿題・提出物をしっかりとしあげる。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>範囲はテスト発表時に通知する。</p> <p>授業中に学習したことをしっかりと復習しておく。</p>		
学習上の注意	<p>チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え、着席して待つ。</p> <p>板書されたこと・気づいたことなどノートに工夫してまとめておく。</p> <p>先生や友だちの話や発表を、しっかりと聞く。</p> <p>ノート・レポートなどの提出は、提出期限を守る。</p> <p>ノートのまとめなど個人の学習が早くできて、時間に余裕があるときは、読書・ワーク・資料・漢字学習・予習・復習などから各自が課題を選択し、自学学習を進める。</p>		

学習内容及び評価基準について

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て						
月	単元計画			評 価 の 観 点		評 価 の 方 法				
期	4	1章 式の計算 式の加法，減法	中間	数学 への 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	さまざまな事象を数量や図形でとらえたり，それらの性質や関係を見いだしたりするなど，数学的に考えることに関心をもち，意欲的に問題の解決に活用しようとしたか。	授業中の態度， 発表 ノート ワーク 提出物 定期テスト				
	5	単項式の乗法，除法 文字式の利用								
	6	2章 連立方程式 連立方程式とその解 連立方程式の解き方 連立方程式の利用								
期	7	3章 一次関数 一次関数とグラフ	期末	数 学 的 な 見 方 や 考 え 方	数学的な見方・考え方を身につけ，事象に潜む法則を見だし，論理的に解決ができたか。	発表 ノート ワーク 提出物 定期テスト				
	9	一次関数と方程式 一次関数の利用								
	10	4章 図形の調べ方 平行と合同					中間	数 学 的 な 表 現 ・ 処 理	基本的な知識をもとに，数量関係を明確に表現したり，処理することができたか。	ノート ワーク 提出物 定期テスト
	11	証明								
		5章 図形の性質と証明 三角形	期 末	数 量 ・ 図 形 に つ い て の 知 識 ・ 理 解	それぞれの単元について，基本的な知識を身につけ，理解したか。	ノート ワーク 提出物 定期テスト				
期	12	四角形	学 年 末							
	1	円								
	2	6章 確率 確率の意味 場合の数と確率								
	3	中学2年の総復習								